

駒場地区駒場Ⅰキャンパス 第2次整備計画概要

平成11年2月24日(第1次)

(駒場地区キャンパス整備委員会承認)

平成17年2月3日

(キャンパス計画委員会 駒場地区部会承認)

I 趣旨

- 1) 本概要は、「駒場地区キャンパス再開発・利用計画要綱（平成5年12月14日評議会承認、平成15年3月18日評議会改正）」（以下「要綱」という。）Ⅳの第1項に基づき、関連部局の建築計画を統合・整理して、要綱に示す基本計画を実行に移すためのより具体的な計画を定めるものである。
- 2) 要綱が駒場Ⅰキャンパスについての目標とする、最先端の教育研究施設の整備、「開かれた大学」の実現、恵まれた自然環境の活用および合理的更新システムの確立を、教育研究活動を支障なく継続しつつ実現するためには、長期的な視野の下に計画を立てる必要がある。本概要では、そのような趣旨から、当面の数年間に限定せず、中長期的な期間にわたるキャンパス整備の計画を示している（Ⅱ整備計画）。

要綱Ⅳの第1項によれば、駒場地区キャンパス整備計画概要は、おおむね5年ごとに策定されるべきものとされているが、その趣旨は、向こう5年間の計画を定めるというのではなく、整備計画を5年ごとに見直していくというものである。本概要は、このように5年ごとに修正・更新されていくべき整備計画概要の第2のバージョンに当たるため、「第2次」と称することとした。
- 3) 本概要では、各部局の建築計画を基に3段階に分けて設定した（Ⅲ段階別施設配置図）。第1段階の計画は、現状において建築可能な敷地があるなど、物理的に直ちに実施可能なものであり、第2段階、第3段階の計画は、それぞれ前段階の建築の進行に伴い、実施が可能になるものである。

第2、第3段階に配置された計画も、前段階の計画がすべて実現しなければ実施できないというものではなく、その中には前段階の計画の1部が進行・実現すれば、実施可能となり、段階が繰り上がっていくものも含まれている。しかも、各部局の建築計画は、本来固定的なものではなく、アカデミック・プランの進展その他の事情の変化に応じ発展し、変更されていくべきものなので、本概要の実施に当たって、全体としての基本枠組は堅持しつつ、適宜柔軟に対処することが求められる。
- 4) 本概要では、既存建物の有効利用の観点から、改築が望まれる建物についても要綱に抵触しない範囲で、その改修を先行させている。改修に当たっては、耐震改修など既存不適格部分にとどまらず、質の高い改修が望まれる。その際、必要に応じて既存建物への一部増築も視野に入れることとする。

部局等名	基準面積等 (㎡) * 1	現有面積 (㎡) * 2	部局等要望面積 (新 築・改築・増築分) (㎡) * 3	備考
大学課外活動施設	4,000	7,900	3,200 2,000	第1段階 (新築) 第3段階 (新築)
その他 * 4	8,100	14,000		
計	146,000	134,000	62,700	

* 1 : 基準面積等＝基準面積 (平成16年5月1日現在の推計) + 現有基準特例面積 (寄付建物を含む)

* 2 : 現有面積は平成16年5月1日現在で現有建物面積 (寄付建物面積を含む) と建物整備中もしくは整備確定済み事業の計とする。

* 3 : 部局等が要望している概算面積

* 4 : 一般管理施設、設備スペース等

2. 建物以外の整備計画

建物以外の整備に関しては、下記の事項に特に留意するものとする。

1) 近隣環境

- 周辺環境への配慮 キャンパス整備が周辺環境に及ぼす影響の理解と配慮
炊事門雨水流出対策／砂塵防止対策（ラグビー場、第二グラウンド）

2) 交通計画並びに道路・広場

- 道路・広場 歩行者優先の空間の確保／雨水浸透対策／安全性・静謐性の確保／サービス用車道の確保／駐車・駐輪スペースの確保／防災機能の充実（広域避難場所対策）／構内緑地資源の保護と総量の確保／ユニバーサルデザイン（バリアフリー）／保存空地の整備（キャンパス東端の池周辺整備）
- 駐輪場 通勤・通学用は集約的に整備／構内移動用は分散整備
- 門・堀 地域との交流・開放性／アプローチの利便性／防犯・管理／車の進入口・出口の確保

3) 運動施設

- 屋外運動施設 所要施設の維持・整備（ラグビー場、第二グラウンドの全天候化）／屋上利用等による敷地の効率的利用

4) エネルギー供給・給排水・廃棄物処理

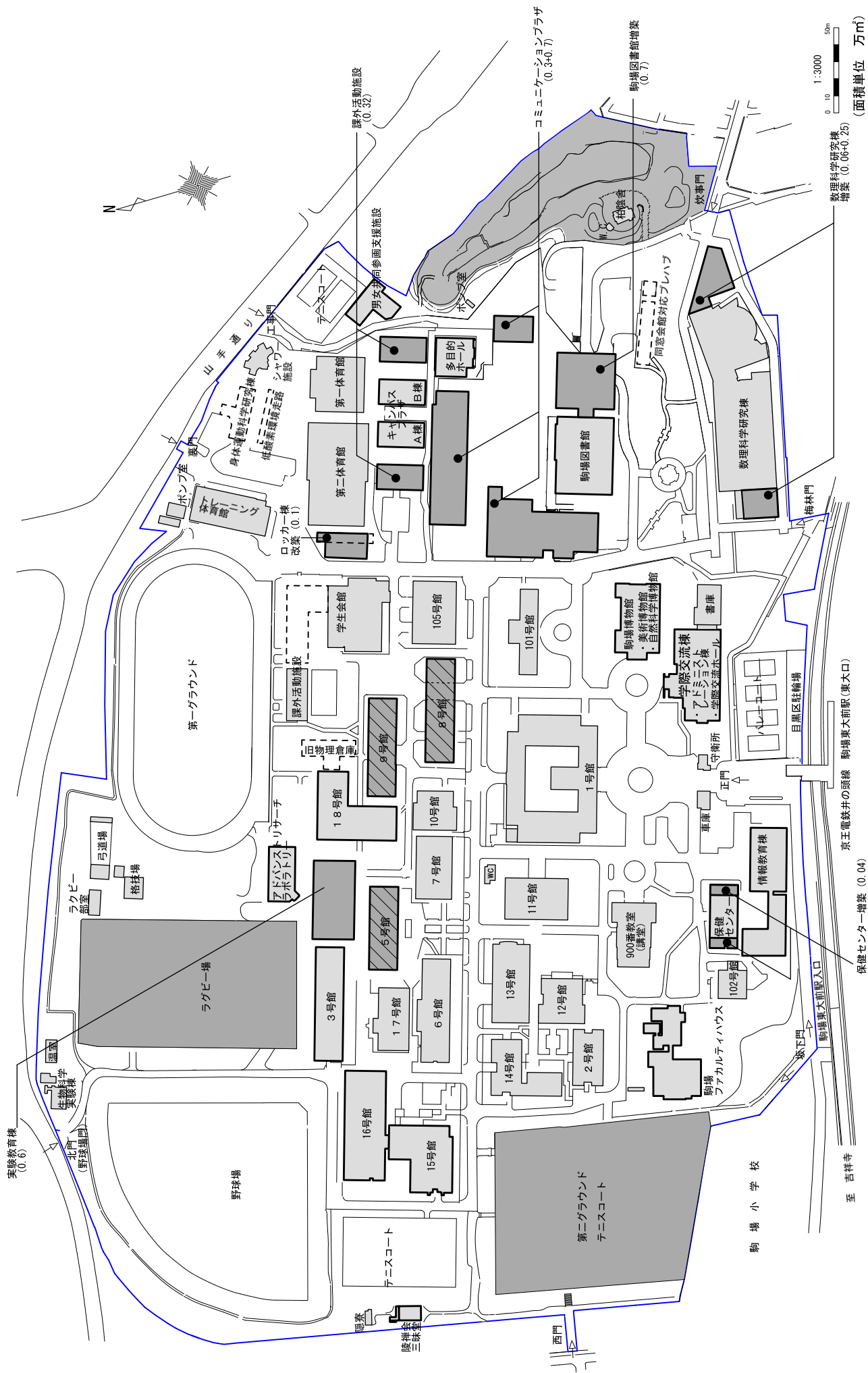
- エネルギー等供給 必要容量の確保／安定供給／省エネルギー対策／需要ピーク時のエネルギー供給対策
- 共同溝 建物・道路等の整備にあわせた拡充
- 排水 周辺都市下水整備との整合／構内排水系統整備／雨水浸透策／雨水再利用・中水道整備
- 廃棄物処理 環境への配慮／徹底した分別回収とこれに対応する廃棄物置き場の整備（改築、増築、改修時に必要に応じて新設）／リサイクルの徹底

5) 情報通信整備

- 情報システム 陳腐化防止・更新／発信機能の充実

6) 学習・教育・労働環境

- 学習・教育・労働への支援 留学生・外国人教師・共働き職員等の学習・勤労環境の支援



段階別施設配置図 2. 第1段階

- 凡例
- 新築建物
 - 改修建物
 - 暫定改修建物
 - 空地整備
 - 整備済み空地
 - 既存建物
 - 取り壊し建物
 - 整備済み建物

面積単位 万㎡

0 10 50m

1:3000

駒場科学研究棟
増築 (0.06+0.25)

駒場図書館増築
(0.7)

コミュニケーションプラザ
(0.3+0.7)

課外活動施設
(0.32)

男女共同参画支援施設

第一体育館

第二体育館

多目的ホール

駒場図書館

駒場科学研究棟

同窓会館対応プレハブ

梅林門

駒場博物館
・美術博物館
・自然科学博物館

書庫

学際交流棟
・アミダビル
・学際交流ホール

守衛所

正門

車庫

目黒区立輪場

駒場東大前駅(東大口)

京王電鉄井の頭線

保健センター増築 (0.04)

至 吉祥寺

駒場小学校

西門

降旗三塔

観察

テニスコート

16号館

15号館

17号館

6号館

3号館

18号館

ラボラトリ

ラボラトリ

課外活動施設

学生会館

105号館

101号館

1号館

駒場博物館
・美術博物館
・自然科学博物館

書庫

学際交流棟
・アミダビル
・学際交流ホール

守衛所

正門

車庫

目黒区立輪場

駒場東大前駅(東大口)

京王電鉄井の頭線

保健センター増築 (0.04)

至 吉祥寺

駒場小学校

西門

降旗三塔

観察

テニスコート

16号館

15号館

17号館

6号館

3号館

18号館

ラボラトリ

ラボラトリ

課外活動施設

学生会館

105号館

101号館

1号館

駒場博物館
・美術博物館
・自然科学博物館

書庫

学際交流棟
・アミダビル
・学際交流ホール

守衛所

正門

車庫

目黒区立輪場

駒場東大前駅(東大口)

京王電鉄井の頭線

保健センター増築 (0.04)

至 吉祥寺

駒場小学校

西門

降旗三塔

観察

テニスコート

16号館

15号館

17号館

6号館

3号館

18号館

ラボラトリ

ラボラトリ

課外活動施設

学生会館

105号館

101号館

1号館

駒場博物館
・美術博物館
・自然科学博物館

書庫

学際交流棟
・アミダビル
・学際交流ホール

守衛所

正門

車庫

目黒区立輪場

駒場東大前駅(東大口)

京王電鉄井の頭線

保健センター増築 (0.04)

至 吉祥寺

駒場小学校

西門

降旗三塔

観察

テニスコート

16号館

15号館

17号館

6号館

3号館

18号館

ラボラトリ

ラボラトリ

課外活動施設

学生会館

105号館

101号館

1号館

駒場博物館
・美術博物館
・自然科学博物館

書庫

学際交流棟
・アミダビル
・学際交流ホール

守衛所

正門

車庫

目黒区立輪場

駒場東大前駅(東大口)

京王電鉄井の頭線

保健センター増築 (0.04)

至 吉祥寺

駒場小学校

西門

降旗三塔

観察

テニスコート

16号館

15号館

17号館

6号館

3号館

18号館

ラボラトリ

ラボラトリ

課外活動施設

学生会館

105号館

101号館

1号館

駒場博物館
・美術博物館
・自然科学博物館

書庫

学際交流棟
・アミダビル
・学際交流ホール

守衛所

正門

車庫

目黒区立輪場

駒場東大前駅(東大口)

京王電鉄井の頭線

保健センター増築 (0.04)

至 吉祥寺

駒場小学校

西門

降旗三塔

観察

テニスコート

16号館

15号館

17号館

6号館

3号館

18号館

ラボラトリ

ラボラトリ

課外活動施設

学生会館

105号館

101号館

1号館

駒場博物館
・美術博物館
・自然科学博物館

書庫

学際交流棟
・アミダビル
・学際交流ホール

守衛所

正門

車庫

目黒区立輪場

駒場東大前駅(東大口)

京王電鉄井の頭線

保健センター増築 (0.04)

至 吉祥寺

